

今月のコンテンツ

- 労務管理ニュース「労務管理ホットニュース」
- 無くならない過労死
- 人事制度は能力評価へ回帰
- 若者への対応
- ビジストの縁めぐり
- ビジストスタッフの非日常…細谷・森本

保険証がリニューアル！



協会けんぽの健康保険証が少し変更になります。来年2015年1月26日以降に発行される保険証には、二次元バーコードが印刷されることになったのです。この二次元コードは、健康保険証に記載されている情報をコード化しているのですが、使用目的は、協会けんぽが保険証を発行したり回収したりした記録として用いるものです。そのため、既に保険証を発行している方々のものを差し替える必要はありません。なお、今後従業員から保険証を回収するとき、キャッシュカードのようにはさみで切り込みを入れたりしないよう注意しておく必要があります。

出産育児一時金が増額！

来年2015年1月から出産育児一時金の額が増額されます。現在、1児につき39万円、産科医療補償制度に加入している医療機関で出産したときは1児につき42万円支給されていますが、補償制度の掛金が見直されたこと、出産費用の動向を勘案し、1児につき40万4千円、産科医療補償制度に加入している医療機関で出産したときは変わらず1児につき42万円支給されます。なお、医療機関等の産科資料補償制度への加入率は、2014年11月18日現在で99.8%にのぼっています。



被扶養配偶者の非該当届について

扶養家族になっている配偶者の(第3号)年金手続きは会社経由で行うことになっていますが、第3号の「資格喪失手続き」は、第3号被保険者が死亡したときか、日本国外で居住することになったときに限られていました。それ以外の場合は別の年金制度に自ら加入することになるため手続きは要らない、という発想だったのです。ところが、このような制度であるがゆえ、第3号である期間の年金記録が曖昧になるという事態になっていたため、今年2014年12月から「非扶養配偶者非該当届」という届出が新たに発生することになりました。具体的には

- ✓ 第3号被保険者の収入が増え、扶養から外すとき
- ✓ 離婚したとき

には届出が必要です。ところが、この場合でも、会社が協会けんぽに加入している場合は届出が不要です。これは、協会けんぽに行った届出の内容を共有するからです。また、従業員が会社を辞めることで第3号ではなくなるケース、第3号の配偶者が就職して自分で年金に加入するケース、死亡したケースなども非該当の届出は必要ありません。



高額療養費が変わります！

来年2015年1月から、高額療養費制度が変わります。標準報酬月額によって医療費の自己負担上限額が変わるのですが、今まで3段階の分け方だけでしたが、今後は5段階となり、報酬に応じた負担という色合いがより強くなっています。医療費が高額になりそうときは、忘れず申請しましょう！

【傾聴カフェにお越しください！】

ビジストでは、職場のコミュニケーションを円滑にするための実践の場として、「傾聴カフェ」を運営しています！
詳しくはコチラ→ <http://www.busi-st.com/seminar/>

編集こぼれ話

今号は12月号、早いもので今年最後のNEWSとなります。1月からのNEWSを読み返すと、法改正や社会保障制度の変更など一年で目まぐるしい変化がありました。法や制度は「生きもの」なんだと改めて感じます。完全な形は無く、世情を反映しながら変化・進化を続けているのですね。中には納得のいかない変化もあるようですが、来年は一人ひとりの生活に良い影響をもたらすような素晴らしい進化をこの誌面でご紹介できればと思います。

さて12月と言えば、忘年会シーズン到来!ですね。先日遅い時間の地下鉄ホーム内を背中に「転落なくし隊」と大きくプリントされたユニホームを着た方々が見回りされていました。楽しかった忘年会が帰りにには悲しい思い出に変わってしまわないように、皆様もどうぞお帰りの際はお気をつけ下さいね。ビジストの忘年会では一年を振り返り、最後は皆様への感謝の気持ちを改めて感じる時間になりそうです。一年間ビジストをご愛顧頂き誠にありがとうございました。来る2015年、皆様に更にご満足いただけるサービスを目指して参ります! (モリモト)

無くならない過労死

大西 美佳

最近、私が気になる報道は、過重労働（+パワハラ）からの自殺のケースです。過労死に至るような働き方をさせている会社はないのでは?とと思っていましたが、報道を見るとそうではないようです。

●飲食店長自殺、パワハラ・過労認定

東京地裁 5790 万円賠償命令
残業月平均 190 時間超え、休日ほとんどなし、ミスをしたら上司のエリアマネージャーから暴言、頭を殴られるなどの暴力もあった。休日に買い物命令や、釣りなど強要があった。

●英会話講師の持ち帰り残業認め、自殺が労災認定

労働基準監督署は、自宅で月80時間程度、会社での残業を合わせると月100時間程度の残業が恒常的にあり、さらに上司から怒られるという心理的負荷により、うつ病を発症した。
→持ち帰り残業を労働時間と認めた珍しいケース

●銀行勤務の男性 長時間労働によるうつ病が原因で自殺

熊本地裁 会社に1億3千万円支払命令
本店勤務で為替などシステムを更改する業務を担当。
亡くなる4ヶ月前から月100時間を越える残業をしていた。

労働者側からの情報による報道がほとんどなので、具体的な実態がどうであったのか、客観的な判断はできませんが、過重労働の事実があって、従業員さんが亡くなった場合、必ず会社の責任が問われますので、そうならないように十分に留意して下さい。過労死防止法も今年の11月から施行されています。

行政も過重労働の指導に力を入れております。残業が多くて、体調不良が見られる従業員さんがいないかどうか、必ず定期的にチェックしてください。一人に業務が集中するのを防止する、業務分担を上司が行う、繁忙期が過ぎたら、必ずお休み（有給休暇や代休など）を強制的にでも取らせるようにしましょう。仕事が原因で亡くなるという悲しい出来事が起きないようにしたいものです。

仕事は、一番身近な社会貢献、生活の基盤、お客様のお役に立てる喜び、多くの感謝やありがとうを頂けるもの、いろんな表現ができると思いますが、それらを含めて人が生きるうえでの素晴らしい行為であると、私は考えています。

雇用される側の人も、いまの仕事が、自分にとっての喜びになっているのか、いないのか。与えられた仕事だからとこなすのではなく、能動的に自らの意思を持って仕事をする。嫌なら自分が職場を変えていくぐらいの気構え、知恵を出す。何事も前向きに捉え、チャレンジする先に喜びがある。苦でしかない仕事であれば、違う職場を選ぶことも、自分の選択のひとつでもあるでしょう。どんな境遇や会社に勤めていたとしても、すべては自分の心のあり方がいまの自分を決めるのです。自分をいまいちど、冷静に振りかえってみましょう。

人事制度は能力評価へ回帰

磯部和代

日本では、悪とされている年功的人事制度ですが、時代時代に正義があり、日本では職務給は合わないとの講義を受けるチャンスがありました。

日本の工業化は15歳の中卒一括採用（金の卵）によって成り立ち、この年齢は能力に差がなく、職務経験年数がそのまま労働力の価値として評価されました。これが年功人事です。

しかし、年齢と能力が一致せず、特に高齢になると能力がさがっているのに、給料が上がるような年功制度は評価されなくなりました。昭和43年のオイルショックを機に技術革新が進み、人がその速さについて行けなくなり、中途採用が必要となり、役職と等級を分離させた職能給が楠田丘先生により発明されました。職務経験年数をそのまま評価するのではなく、その経験から身につけた職務遂行能力を評価して賃金に結び付ける人事制度です。人（能力）によって賃金が違う制度ともいえます。

それとは反対に、仕事によって賃金が決まる制度が成果主義人事です。職能制度は高い能力が高い成果に結びつくとは限らず、また、能力は向上し続け低下することはないという前提から降格が行われず、適正な能力評価が行われているとはいえなかつたのです。能力よりも成果で捉える人事制度である成果主義人事制度が生まれた。

しかしながらこれには日本では問題があります。イギリスで産業革命の頃、失業のおそれを感じた労働者が機械の打ちこわし運動を始めました。ラッドライト運動と呼ばれる運動です。日本では、これを恐れ、昭和40年代から技術革新を進めるにあたって、手段的紛争を回避するため長期雇用システム（終身雇用、年功賃金）を約束したのです。長期雇用をシステムを補完するものとして、解雇が簡単にできない解雇権濫用法理を確立し、その代わりに経営の硬直化を防ぐため、使用者に人事権・懲戒権を認めたのでした。

そこで、日本では、機械の導入により、今まで10人必要だった労働者が5人に減ったとしても、残り5人を解雇せず、他の職務に異動させその雇用を守る必要があります。その仕組みには、仕事によって賃金が決まる職務給はふさわしくありません。なぜなら、給与が安い職務に異動させることで不満が生じることになるからです。配置転換をするには人によって給料が決まる職能給がふさわしいのです。

人事制度は、日本では一度成果主義人事にかわり、今また、能力評価に変わってきていること、日本の雇用環境には職能人事が合っています。



若者への対応

尾崎 貴子

現在、人材不足、人材採用難が多くの企業の課題となっています。そんな中、11月7日に、新規学卒者の離職状況が厚生労働省から発表がありました。

新卒に関しては昔から「七五三」という言葉があるように入社3年で、中卒の7割、高卒の5割、大卒の3割が離職すると言われています。今回の発表では、新規学卒者の卒業後の離職率は、大卒32.4%、高卒39.6%といずれも前年比増となっています。

私の周りでも、「新卒で就職した息子が会社を辞めて・・・。」と、言う話を聞くことが多々あります。

「仕事がハードでついていけない」、
「他に自分には可能性があると思う」など、
いろいろと人によって理由はあるようですが、
転職サイトに上げられる退職理由ランキングのトップ3は



- 1位 上司・経営者の仕事の仕方が気に入らなかった
- 2位 労働時間・環境が不満だった
- 3位 同僚・先輩・後輩と上手くいかなかった

と、なっており給与などの労働条件よりも、人間関係の問題が退職の引き金となっていることが伺えます。特に上司や経営者など、自分よりも地位の高い人に対する人間関係がネックのようです。

採用時に若者は、採用担当者の人柄を見て、「こんな人になりたい」「こんな人と一緒に働きたい」と、その企業を選ぶそうです。そして大きな憧れや期待を持って入社したが、社内の人間関係が原因で退社してしまう。とても悩ましいことです。

管理職の方から、「自分達は上司に怒鳴られながら仕事をしてきた」「仕事は見て覚えた」「褒めてもらう事などなかった」などの声を耳にします。確かに私自身も怒られた経験の方が多いと感じます。しかし、今は時代が違い、育った環境も違うことを理解し、人生経験の長い先輩の自分達が変わる必要があるように思います。

一流大学の大学院を出て就職し、就職先では朝から晩まで現場で粉まみれの重労働を、怒られながらしていた若者が、半年後には顔色悪く生気を失っていたそうです。今まで順風満帆の人生の彼にとって、肉体的にも精神的にもかなりつらかったようです。

彼を気にかけていた他部署の管理者が「頑張ってるね!つらいと思うけど、現場を知ることは、あなたが管理部に行ったときに大きな力になるからね。頑張ってよ!」と、声をかけたところ、彼は嬉しそうに「ありがとうございます」と言い少し元気を取り戻したそうです。

何のために今の仕事をしているのか?自分は役に立っているのか?このままずっと・・・?など、不安を抱えながら日々業務に当たっている若者の気持ちを理解して、仕事の先に見えるもの「やりがい」を見せてあげることで、ここで頑張りたいとなるのではないのでしょうか?褒める言葉、期待の言葉をかけることでやる気は上がります。

「頑張ってるな～」
「ありがとう!助かるわ」
「期待してるで!」

もっと、もっと言いたいですね!



えん ビジストの”縁”めぐり

日頃たいへんお世話になっておりますビジストの大切なお客様の会社を紹介してまいります。知られざるユニークな商品や興味深い事業内容を皆様にご紹介することで、お客様同士の”縁”が繋がれば、との思いを込めて・・・。

(縁002番)

会社名 株式会社 葉乃國

事業内容 お茶、スイーツの販売、スイーツバーの運営、婚活サポートなど

所在地 大阪市北区堂島



この女心をくすぐるピンク色のパッケージこそ葉乃國さんのブランド「大阪阿嬢浪漫スイーツ」です。大正時代の可憐な女性が愛しい人に想いをはせながら口にする、お茶と一緒に楽しむスイーツをコンセプトに作られています。堂島3-2-6にある店舗だけでなく、大阪松坂屋高槻店、大阪駅や新大阪駅、天王寺駅のお土産コーナー、その他関空や高速のサービスエリアでも販売されています!

そして特にお伝えしたいこと!

堂島店は単なる販売店舗ではなく、「スイーツバー」として営業されています。ランチタイムはカレーを研究しているシェフによるこだわりのカレーが、ティータイムには神戸で修業をしたパティシエが腕をふるう絶品スイーツが楽しめます。特にクッキーシューは絶品で、色々なメディアにも取り上げられています! ぜひ一度お試しを! さらに、アーティストを招いての演奏会や美をテーマにしたワークショップなども開催されます。興味のある方は定期的に情報をチェックして! 最新の情報は、「大阪阿嬢浪漫スイーツ」のfacebookでチェックできますよ!

*次号の”縁”めぐり先のお客様を大募集!
ビジストスタッフまで是非ご連絡下さいませ。

ビジネスタッフの**非**日常！

ソロウェディング♪

細谷 明子



女性であれば一度は憧れ、夢に見るのがドレスじゃないでしょうか。私も幼い頃、シンデレラに出てくるようなステキなドレスをお絵描きしたっけ…ドレスの究極の形って日本ではウェディングドレスになるんだろうと思います。社交界にデビューできるような人以外は日常でドレスって、(´_`) ないですもんね～ところがそんな貴重なドレスを着る機会も失われてきている！最近では晩婚化、さらには結婚しないという選択をする人も増加しているんですよね。私の周りにもお一人様を謳歌している方々が結構いますから。でもでも、女性としてはドレスを着たい！そんな思いを形にするサービスを展開しているのが京都の旅行会社、Cerca Travel (チェルカトラベル) さんです。このサービスは、独身に限らず、もちろん年齢も関係なく、とにかく自分の着たいウェディングドレスを誰に遠慮

することなく着て、プロのメイクで最高の自分を引き出し、その最高の瞬間をプロのカメラマンに撮影してもらおうという素晴らしい企画です。このサービスの特異さもあって、最近ではテレビ局の取材もひっきりなしです。そこで、テレビ取材ありのモニター出演者を探されていることを知り、ドレスに憧れる私の友人に話をもちかけました。その結果、一晩考えた彼女が出した結論は、「こんな機会はもうないと思うから、ぜひやってみよう」ということ。

当日は、NHKとTBS、日経新聞の取材が入っていました。私も彼女の晴れ姿を見に駆けつけたのですが、まさに現場！という感じで、多くのスタッフとカメラ、音声マイクに圧倒されました。しかし！プロの手で美しい花嫁に変身した友人は、いつもと違って(いやいや、いつも以上に、です)キラキラと輝いていました。本当に女性は変わるな～と私もテンションが上がりました。

NHKもTBSも、放送日を教えてもらってしっかりチェックしました。TBSには、なんと私も友人として登場してました！…が、ゲゲ。プロのメイクを施していない私には魔法がかかっておらず、とても公共の電波でお伝えできる絵ではありませんでした…ガクツツ客観的に見ると、こんななんや～と絶句。やっぱり日々のお手入れを怠らず、特別じゃなくてもいつもキレイでいたい！と思わされました。それにしても、カメラはウソをつかないな～としみじみ思ったのでした。

ちなみに…チェルカトラベルさんはとても面白いコンセプトでツアーを企画している会社です。興味のある方はぜひ一度サイトをチェックしてみてくださいね～ <http://cerca-travel.co.jp/>

動物コミュニケーション

森本 雅子

子供の頃、訪れた動物園。「ゾウさ～ん!」「アシカさ～ん!」と声を張り上げて、手の届かない動物との距離を少しでも縮めようと懸命に呼びかけていた思い出があります。しかし当の動物さん達は知らん振り。もっと近くで触れ合えたら…。動物園からの帰りも少しだけ心に隙間ができた気持ちになっていました。

…さてあの幼かった日々から〇〇年。ついに子供の頃からの夢が思いがけず叶いました!

訪れたのは大阪府枚方市にある「ひらかたパーク(ひらパー)」。

友人二人と「大人3枚」の入場券(*´`*)を購入します。

ゲートのお姉さんに「ごゆっくり楽しんでくださいね～」と声を掛けて頂き遊園地に一歩足を踏み入れた瞬間 3人は大きな身体を持つお子様に変身!さまざまなアトラクションがカタカタゴゴゴと爆音を鳴らしながら駆け巡る様子に大きな子供達のテンションが上がります。しかしいざ何か乗ってみようという段になると「私、実は高所恐怖症やねん」「私も～!」という具合に大きな子供3人組は絶叫マシンを前にしてにわかに澆漓さを失っていくのでした。

そんな3人の目に留まったのが「どうぶつはぐはぐタウン」なる施設。動物をハグハグできる!?上や下に振り回されて絶叫しなくていいアトラクションを発見した3人は、本来の子供らしさを取り戻し、スキップしながら入館しました。入口では早速アルパカがお出迎え。もちろんハグできるように放し飼いです。モコモコの

首に手を回して思い切りハグハグしました。優しく大きな目で見つめ返してくれるアルパカさんの温かい体温が伝わってきて、なんだか心が通い合ったようで感動を覚えました。それから先でも、ペンギン、カピバラ、ワラビー、ふくらうなどの



「家では飼えない」動物たちが点在していて、基本的には近づいて触ったり餌をあげたりできます。次々と目の前でご対面する可愛い動物達にすっかり魅了されて童心に返ってはしゃぎ回りました。さて、はぐはぐタウンの名物イベントが「コツメカワウソ君との握手会」!普段は大きな水槽内で素早く泳いでいるコツメカワウソ。ご存知の方もたくさんいらっしゃると思いますが、とにかく可愛いのです。いつもは水槽越しに動きを追っていただけのカワウソ君が水槽を飛び出して台の上にもちょこんと座っています。そのカワウソと向かい合い「はじめまして～」という感じで人差し指を差し出すと、小さな両手でギュッと握ってくれます。コツメカワウソとコミュニケーションが取れた心がほんわかと温まります。幼い頃に動物園で望んでいた動物との交流がついに実現しました!帰り道は永年空いていた心の隙間が少し埋まったような気分になり、満たされた心と共に徐々に大人に戻っていったのでした。

